令和６年度（2024 年度）

市政モニター
第１回アンケート結果

テーマ１　「再犯の防止」について

生活安全部 防犯課

テーマ２　「みどりの現状と課題」について

環境部 環境保全課

八王子市

あなたのみちを、あるけるまち。八王子

目　　次

《市政モニターの属性》 1

テーマ１「再犯の防止」について

問１ 八王子市が犯罪のない（少ない）安全で安心な暮らしやすいまちだと思うか 2

問２「再犯防止の取組」の推進の認知度 3

問３「八王子市再犯防止推進計画」の認知度 3

問４「再犯防止に協力する民間協力者」の認知度 4

問５ 再犯防止に協力する民間協力者を知ったきっかけ 6

問６ 犯罪や非行をした人の立ち直りに協力したいと思うか 7

問７ どのような協力をしたいと思うか 7

問８ 立ち直りに協力をしたくない理由 8

問９ 犯罪をした人が地域に戻るために大切だと思う支援 9

問 10 再犯防止への取組について（自由記述） 10

テーマ２「みどりの現状と課題」について

問１ 住まいの地域で美しい「みどり」といえば何を思いうかべるか 13

問２ みどりの役割について特に大切だと思うもの 14

問３ まちなかにみどりを増やそうとする場合に、どの場所にみどりが多いと良いと思うか 15

問４ 住まいの周辺にどのような公園があると良いか 15

問５ 子どもたちに体験させたい「自然とふれあう活動」 16

問６ 生物多様性が生み出す豊かな恵みを将来にわたり享受し続けるため、より力を入れて推進していくべきこと 17

問７ みどりを守り育てていくために、施設の緑化や緑地の確保において、市はどのようなことに力を入れるべきか 18

問８ みどりを守り育てていくために、市民の取組に対する支援において、市はどのようなことに力を入れるべきか 19

問９「森林環境税」を活用した取組としてより力を入れるべきこと 20

問 10「みどりを活かした豊かなまちづくり」について（自由記述） 21

市政モニターの属性

（太枠内はアンケートの回収数）

全　体		郵送		インターネット		合計	
		17	**15**	84	**81**	101	**96**
性別	男性	11	**10**	49	**48**	60	**58**
	女性	6	**5**	35	**33**	41	**38**
年代	１８歳～２９歳	0	**0**	13	**12**	13	**12**
	３０歳代	2	**1**	10	**10**	12	**11**
	４０歳代	0	**0**	23	**23**	23	**23**
	５０歳代	2	**2**	16	**15**	18	**17**
	６０歳～６４歳	5	**4**	13	**13**	18	**17**
	６５歳以上	8	**8**	9	**8**	17	**16**
地区	中　央 （本庁地区）	2	**2**	21	**20**	23	**22**
	西南部 （浅川・横山・館地区）	1	**1**	20	**20**	21	**21**
	東　部 （由木・由木東・南大沢地区）	3	**2**	16	**16**	19	**18**
	西　部 （元八王子・恩方・川口地区）	6	**5**	7	**5**	13	**10**
	東南部 （由井・北野地区）	4	**4**	15	**15**	19	**19**
	北　部 （加住・石川地区）	1	**1**	5	**5**	6	**6**

※ アンケート実施期間：令和6年（2024 年）8月8日から8月 29 日まで
※ 回収率：95.0％（小数点第2位を四捨五入）
※ 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で表示した。（百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100％にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が100％を超える場合がある。）
※ 割合の表現については、以下の表記を基本とする。

＜例＞

表記	4割	約4割	4割強	4割台半ば	5割近く	5割弱
割合	40.0%	40.1～40.9%	41.0～43.9%	44.0～45.9%	46.0～48.9%	49.0～49.9%

※ 自由記述の表現はできる限り原文のまま記載しているが、アンケート全体で統一するため、一部表現を修正している。また、特定の個人、団体への誹謗中傷につながる内容や企業の営業活動に影響するもの、根拠が明確でないものなどは、一部削除・修正した。

テーマ１　「再犯の防止」について

生活安全部 防犯課

本市では、平成 28 年（2016 年）に施行された「再犯の防止等の推進に関する法律」の趣旨に基づき、令和３年（2021 年）４月に「八王子市再犯防止推進計画」を策定し、犯罪や非行をした人の立ち直り支援、再び犯罪や非行をしないようにするための取組を行っています。

本計画が令和６年度（2024 年度）に満了を迎えるにあたり、再犯防止推進について市民の皆様の意識や認知度を把握し、令和７年度（2025 年度）から始まる次期計画策定の参考にするため、市政モニターの皆様にご意見を伺います。

「再犯」とは・・・犯罪をした人が再び犯罪をすること。
「再犯防止」とは・・・犯罪をした人が立ち直り、再犯しないようにすること。

問１　あなたは、八王子市が犯罪のない（少ない）安全で安心な暮らしやすいまちだと思いますか。

（○は１つだけ）

（n＝96）

	構成比（%）
思う	9.4
どちらかといえば思う	59.4
どちらかといえば思わない	20.8
思わない	8.3
わからない	2.1

八王子市が犯罪のない（少ない）安全で安心な暮らしやすいまちだと思うか聞いたところ、「どちらかといえば思う」が６割弱（59.4%）と最も多く、次いで「どちらかといえば思わない」が約２割（20.8%）であった。

問２　あなたは、国が平成 28 年（2016 年）に「再犯の防止等の推進に関する法律」を施行し、再犯防止の取組を推進していることを知っていますか。　（○は１つだけ）

（n＝96）

	構成比(%)
具体的に知っている	0.0
「再犯防止」という言葉は聞いたことがあるが、取組内容は知らない	61.5
知らない	38.5

再犯防止の取組の推進について聞いたところ、「「再犯防止」という言葉は聞いたことがあるが、取組内容は知らない」が６割強（61.5%）と最も多く、次いで「知らない」が４割近く（38.5%）であった。

問３　あなたは、令和３年（2021 年）４月に策定した「八王子市再犯防止推進計画」について知っていますか。　（○は１つだけ）

（n＝96）

	構成比(%)
具体的に知っている	0.0
聞いたことはあるが、内容は知らない	18.8
知らない	81.3

「八王子市再犯防止推進計画」について聞いたところ、「知らない」が８割強（81.3%）と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が２割近く（18.8%）であった。

問４　再犯防止に協力する民間協力者がいます。あなたは次のような方々がいることを知っていますか。　**（名称ごとに○は１つだけ）**

□ は項目内の最高値　（n＝96　構成比(%)）

名称	役割	名称・役割ともに知っている	名称を知っている	役割を知っている	名称・役割ともに知らない
保護司	犯罪や非行をした人たちの立ち直りを地域で支える民間ボランティア。保護観察対象者へ保護観察（更生のための指導監督、補導援護）を行う。法務大臣が委嘱。	42.7	19.8	11.5	26.0
更生保護女性会	犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行い、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行少年の改善更生に協力する女性ボランティア団体。	2.1	11.5	4.2	82.3
協力雇用主	犯罪や非行をした者等の自立及び社会復帰に協力することを目的として、犯罪をした者等を雇用し、又は雇用しようとする民間の事業主。	18.8	17.7	21.9	41.7
BBS 会（Big Brothers and Sisters Movement の略）	様々な問題を抱える少年たちと、兄や姉のように身近な立場で接することで少年たちが健全に成長していくのを支援し、犯罪や非行のない地域社会の実現を目指す青年ボランティア団体。	1.0	0.0	2.1	96.9

名称	役割	名称・役割ともに知っている	名称を知っている	役割を知っている	名称・役割ともに知らない
更生保護施設	矯正施設から出所・出院された人や保護観察中の人で、身寄りがなく住居がないことや、現在住んでいるところでは更生が妨げられるおそれがあるなどの理由で、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設。	39.6	26.0	12.5	21.9

【問４で「名称・役割ともに知っている」「名称を知っている」「役割を知っている」を選択した方】
問５　あなたが再犯防止に協力する民間協力者を知ったきっかけは何ですか。

（○はいくつでも）

（n＝96）

	構成比(%)
テレビや新聞	78.1
パンフレットやポスター	5.2
知り合いの民間協力者から聞いた	4.2
SNS	4.2
イベント等	3.1
ホームページ	2.1
その他	9.4

再犯防止に協力する民間協力者を知ったきっかけについて聞いたところ、「テレビや新聞」が８割近く（78.1%）と最も多く、次いで「パンフレットやポスター」が１割未満（5.2%）であった。

【その他】具体的に記入・入力のあった内容

○　漫画など　２件
○　学校・大学の授業　２件
○　映画（邦画）
○　身内からの情報により更生女性会を知った。
○　知人や家族の知人に協力者がいた。メディアや書籍などからも情報が入った。
○　学力の低い都立高校に勤めているため、だいたいのことは知っている。
○　具体的には覚えていない。

問６　あなたは、犯罪や非行をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。（○は１つだけ）

（n＝96）

	構成比(%)
協力したい（問７へ）	5.2
どちらかといえば協力したい（問７へ）	24.0
どちらかといえば協力したくない（問８へ）	57.3
協力したくない（問８へ）	13.5

犯罪や非行をした人の立ち直りに協力したいと思うか聞いたところ、「どちらかといえば協力したくない」が６割近く（57.3%）と最も多く、次いで「どちらかといえば協力したい」が２割台半ば（24.0%）であった。

【問６で「１　協力したい」「２　どちらかといえば協力したい」を選択した方】

問７　あなたは、どのような協力をしたいと思いますか。　（○はいくつでも）

（n＝96）

	構成比(%)
再犯防止に関するボランティア活動に参加する	50.0
広報・啓発活動に参加する	39.3
更生保護施設に寄付する	28.6
犯罪や非行をした人に直接会って継続的に助言や援助をする	25.0
協力雇用主として、犯罪をした人を雇用する	3.6
SNS などを活用して広報・啓発活動の情報を発信する	3.6
その他	14.3

どのような協力をしたいか聞いたところ、「再犯防止に関するボランティア活動に参加する」が５割（50.0%）と最も多く、次いで「広報・啓発活動に参加する」が４割弱（39.3%）であった。

【その他】具体的に記入・入力のあった内容

○　規範意識として、社会的排除という実態の捉え直しを行うべきだと思う。

○　どんな協力ができるかわからないので、助言を求めると思う。

○　全くわからない分野のことで、自分に何ができるのかわからないので、何に協力できるかを知ることからになると思う。それを知った上でできることがあるなら協力したいと思う。

○　協力したいとは思うが体力的に難しい。

【問６で「３ どちらかといえば協力したくない」「４ 協力したくない」を選択した方】

問８　あなたが立ち直りに協力したくないと思う理由は何ですか。　　（○はいくつでも）

（n＝96）

	構成比(%)
自分や家族の身に何か起きないか不安だから	55.9
犯罪や非行をした人とどのように接すればよいのかわからないから	55.9
時間的余裕がないから	48.5
具体的な協力方法がわからないから	41.2
犯罪や非行をした人と関わりを持ちたくないから	27.9
自分自身にメリットがないから	20.6
興味がないから	8.8
犯罪や非行をした人への支援などは国や地方公共団体が行うべきだから	7.4
犯罪や非行をした人に支援などをするべきではないから	4.4
その他	5.9

立ち直りに協力したくないと思う理由を聞いたところ、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」と「犯罪や非行をした人とどのように接すれば良いのかわからないから」が５割台半ば（55.9%）と最も多く、次いで「時間的余裕がないから」が５割近く（48.5%）であった。

【その他】具体的に記入・入力のあった内容

○　私には経済的支援ができる経済力と、そのような（保護司さんなど）適性がない。

○　時間的、金銭的に余裕がないこともあるが、自分が人間として度量や胆力に自信がない。

○　家族がいると難しい。

○　犯罪や非行の人たちよりも、その被害にあってしまった人たちの心のケアに重きを置いてほしい。

問９　あなたは、犯罪をした人が地域に戻るために、どのような支援が大切であると思いますか。　（○はいくつでも）

（n＝96）

	構成比(%)
就労の確保	91.7
住まいの確保	46.9
経済的支援	31.3
地域住民の関わり	30.2
福祉的支援	20.8
その他	10.4

犯罪をした人が地域に戻るために、どのような支援が大切だと思うか聞いたところ、「就労の確保」が９割強（91.7%）と最も多く、次いで「住まいの確保」が５割近く（46.9%）であった。

【その他】具体的に記入・入力のあった内容

○　心理的支援
○　精神的支援
○　信頼できる友人
○　精神疾患などにより犯罪を犯してしまった人に対して定期的なカウンセリング
○　再犯防止のためのプログラムの教育など
○　更生のための教育や罪の償いの場
○　１～５以外の地域に根ざしたボランティア
○　居場所と感じられるコミュニティの提供。境遇が近いことや趣味のサークルなど…一方的に与えられるものではなく、自ら参加したいと思う個人の意思を尊重したコミュニティ。
○　再犯防止のための支援であっても、業を背負わせる必要があると考えているため、過度な支援はするべきではない。
○　犯罪を犯した人は地域に戻るべきではない。永遠に刑務所で良いと思う。再び同じ犯罪を犯す気がする。

問 10　再犯防止への取組について、ご意見がありましたらお聞かせください。　　（自由記述）

≪支援≫

○　帰宅時間になると八王子駅周辺では風俗のキャッチや外国人による路上での菓子販売が横行しており、刑務期間を終え路頭に迷った元罪人は結局は非行に走ってしまうのではないかと思う。経済支援も大切だが、まずは就労支援を優先して行い非行への道を閉ざすのを最優先すべきなのではないかと感じた。(20 歳代)

○　函館少年刑務所の訓練船をテレビで見た程度の意見だが、あの船員になるための訓練のように、服役中に出所後の就職に向けて目標を持って努力できる環境があれば良いのではないかと感じる。訓練船は函館ならではだと思うため、地域ごとに提供可能な職業訓練は異なるとは思うが。(30 歳代)

○　衣食住の確保、仕事への支援は当然だと思うが、その人たちが犯罪に目を向けなくて済むように、興味があること、趣味を見つけてあげること、再犯しないために夢中になれることを見つけられたら、そんな支援ができたら良いと思う。(40 歳代)

○　再犯とは文字のごとく同じ過ちを繰り返すことだが、それに至った経緯を分析できるような機関があると良いと思う。それはあくまでも犯した人目線で議論、検討できる機関。(50 歳代)

○　以前少年院の見学をする機会があったが、知的障害がある少年が多く、補導されるまで支援を受けたことがない場合が多いと説明された。学校だけではなく、地域などで、例えばあまり勉強が得意ではなくても地域の活動で認められたり活躍する場を用意できると、自己を肯定できたり他者とのつながりを実感できるのではないかと思う。(60 歳代)

○　再犯防止に関わる活動について周知することが必要だと思う。再犯防止に限らず、他の課題にも共通することだが、市民が知識や情報を共有することで、課題解決に取り組む環境が整い、対策が始まると思う。そうした連帯感の芽生えには行政側の取組が重要。個人レベルでの問題意識では限界がある。問題意識を共有てきる場を提供し、市民間の横のつながり(グループ・組織)によって課題意識や解決は前向きに進むと考える。(60 歳代)

○　犯罪内容にもよるが、専門施設の充実ではないかと思う。地域に戻ったときの就労場所は大切ではないかと思う。また本人のやりたい就労に就くことができるかなども大切。さらに就労受け入れ先の指導者への指導も必要ではないかと考える。(60 歳代)

≪教育や環境≫

○　犯罪を犯す前の、教育や環境作りがまず必要。(60 歳代)

○　子どもの頃の、家庭環境、交友関係、学校関係がその人となりを作ると思うため、難しいことではあると思う。市ができるのは学校環境ではないか、信頼できる人に心配してもらえる環境がどこかにあれば良いのではと思う。家庭以外で色々な人に、時間的余裕を持って接する機会を増やせると良いかもしれない。何か芯（授業、部活、運動、芸術、趣味など）となるものがある人間に人は自然と惹かれ信頼すると思う。ただ子どもによってそのチャネルは様々なので教員が少ない昨今は逆行している気がする。スクールカウンセラーを否定するつもりは全くないが、やはり何か自然なつながり（先生と生徒）から発生する信頼も大切だと思う。これらには、カウンセリングの時間も必要だが、日常的な先生の時間的余裕（人数、残業費、人間的余裕）が重要だと思う。(40 歳代)

○　再犯防止のための教育を徹底してほしい。また、位置がわかるようにしてほしい。(50 歳代)

○　再犯防止はなかなかむずかしい面も多々あると思うが、周囲の人々が犯罪者であるというレッテルを貼らずに接せられる環境が作れたなら、少しは良くなっていくのではないかと思う。（60 歳代）

≪その他≫

○　犯罪を犯した方々も社会に戻るために再犯防止の取組が必要なことは理解しているが、一市民ができることがわからないというのが正直な気持ち。（20 歳代）

○　犯罪したものに援助をして、真っ当に生きているものへの支援を疎かにするのはいかがなものかと考える。刑務作業を本人の意志で続投できるようにするなど、棲み分けをする他ない。（20 歳代）

○　再犯防止ではなく、罪を犯したなら永遠に刑務所で良い。（30 歳代）

○　これから益々犯罪が増える可能性があるため、行政と民間と地域と、様々な連帯・連携が必要だと思う。（40 歳代）

○　犯罪に至る根本的原因はで大きなものでは貧困だと思うので、再犯を防ぐには適切な就労機会や機会を得るための定住の場所の確保は必要だと思う。一方性犯罪に関しては、未成年がターゲットになることも多く、自由の剥奪の程度を増すといった、厳しい措置は社会の安全のために必要と考える。（40 歳代）

○　再犯への取組も必要だが、それ以上に被害にあった方々へのケアを最優先にしてもらいたい。（50 歳代）

○　私は、生活安全部防犯課がこの取組についてどのようなことをしているか知らなかった。もう少し私たち市民に周知できる情報を流してはどうか。一人でも多くの人がこの再犯防止取組をしているということを知ることが大事だと思う。（50 歳代）

○　以前は具体的に考えたこともなかったが、ニュースで支援者が殺害されたのを見て、関わるとそういうことが起きる可能性もあるのを感じた。（50 歳代）

○　再犯防止は、ひとくくりでは語れないと思う。犯罪の種類と動機などで必要な対応が異なるのではないかと思う。（50 歳代）

○　私は無理に地域住民と交わる必要はないと思う。あくまでも、社会のルールが守れなかったのだし、理解してもらえず、嫌悪感を持つ人がいることは仕方がない。ただ、更正のチャンスは平等に与えるべき。今後の過ごし方としては、犯した罪については帳消しになるわけではないので、一定の厳しい目が向けられる現実を理解することは重要と感じる。誰でも信頼を取り戻すのは、普段の何倍もの努力が必要。（50 歳代）

○　偏見をなくし、差別をなくす。（70 歳代）

○　犯罪をした人たちは親が問題を起こしている人が多い。親と距離がとれる施設が必要なのではないか。（60 歳代）

テーマ２　「みどりの現状と課題」について

環境部 環境保全課

本市の「八王子市みどりの基本計画」（※）は令和２年（2020 年）３月に改定し、10 年を計画期間としてみどりに関する各種施策に取り組んできました。

策定から４年が経過し、計画の中間改定を行うにあたり計画の目的である「みどりを活かした豊かなまちづくりを推進する」ことについて、市政モニターの皆様にご意見を伺います。

※「みどりの基本計画」とは・・・

都市緑地法に基づいて八王子市が策定する計画です。

計画では、市の公園・緑地の適正な配置と整備、自然環境保全、都市緑化の推進、緑化の体制づくりなど、みどりに関する各種施策を総合的・体系的に取りまとめています。

本アンケートで扱う「みどり」とは・・・

樹木や草花のほか、樹林地、草地、公園、農地、水辺地などとそれらが一体となって構成されている「自然的空間」をいいます。

これらのみどりには以下のような多様な要素が含まれます。

・自然の動植物などの生きもの、まちに潤いを与える木々や花など
・生きもの相互や地形、土壌、水、大気、気象、人為など周囲との関係のもと成立している生態系
・公園、森林、農地、水辺地などの緑被地やオープンスペース
・レクリエーション、防災、大気汚染や騒音の防止、水質の保全、気象の緩和などの機能を持つ空間
・快適さ、やすらぎ、美観、愛着、八王子らしさなどの人の意識や活動、生活と関わる景観

問１　あなたは、お住まいの地域で美しい「みどり」といえば何を思いうかべますか。

（○は２つまで）

（n＝96）

	構成比(%)
雑木林、山林のみどり	65.6
広場、遊び場、公園のみどり	56.3
街路樹のみどり	44.8
田畑のみどり	11.5
寺、神社の境内のみどり	10.4
生け垣のみどり	4.2
学校のみどり	1.0
その他	1.0
特に思いうかばない	0.0

お住まいの地域で美しい「みどり」といえば何を思いうかべるか聞いたところ、「雑木林、山林のみどり」が６割台半ば（65.6%）と最も多く、次いで「広場、遊び場、公園のみどり」が６割近く（56.3%）であった。

【その他】具体的に記入・入力のあった内容

○　自分にとって最も身近な自然は浅川の自然。市街地にも近い魚釣りスポットにもなるような、生命感溢れる川であると良いと思う。川沿いをランニングしていて気分が良くても、釣り人を見ることのない川なのは寂しい。

問２　みどりにはいろいろな役割がありますが、あなたが特に大切だと思うものはどれですか。
（○は３つまで）

（n＝96）

	構成比(%)
季節感を与える	66.7
心に安らぎを与える	63.5
二酸化炭素を吸収してくれる	47.9
美しいまちなみをつくる	38.5
木かげの涼しさを与える	25.0
土砂災害などの災害防止に役立つ	21.9
動植物とのふれあいが楽しめる	11.5
歴史・文化の趣を感じる	9.4
その他	2.1
わからない	0.0

みどりの役割について特に大切だと思うものを聞いたところ、「季節感を与える」が７割近く（66.7%）と最も多く、次いで「心に安らぎを与える」が６割強（63.5%）であった。

【その他】具体的に記入・入力のあった内容

○　１～８までの優劣つけがたく必要性を理解する。しかし、それを感じる市民が将来を見据えるために、身近な街路樹や学校や公園などで感じることをスタートとしたいと思う。

○　ヒートアイランドの防止。雑木林の温度は低い、新しい道路より、緑地を増やすと良いのではないか。

問３　あなたは、まちなかにみどりを増やそうとする場合に、どの場所にみどりが多いと良いと思いますか。　（○は１つだけ）

（n＝96）

	構成比(%)		構成比(%)
公園	38.5	学校、役所などの公共施設	9.4
街路樹	28.1	個人住宅の庭や生け垣	8.3
工場、会社、商業施設などの民間施設	14.6	その他	1.0

まちなかにみどりを増やそうとする場合に、どの場所にみどりが多いと良いと思うか聞いたところ、「公園」が４割近く（38.5%）と最も多く、次いで「街路樹」が３割近く（28.1%）であった。

【その他】具体的に記入・入力のあった内容

・神社

問４　身近でみどりを感じられる場所として公園がありますが、あなたはお住まいの周辺にどのような公園があれば良いと思いますか。　（○は３つまで）

（n＝96）

	構成比(%)		構成比(%)
子どもがのびのび遊べる	58.3	多目的に使えるように広々としている	24.0
散策ができる	45.8	地域活動・交流ができる	16.7
自然と親しめる	39.6	昆虫などの生育が観察できる	8.3
みどりが豊かである	28.1	環境学習ができる	3.1
スポーツができる	26.0	その他	1.0
水辺がある	24.0	特に希望することはない	0.0

お住まいの周辺にどのような公園があれば良いと思うか聞いたところ、「子どもがのびのび遊べる」が６割近く（58.3%）と最も多く、次いで「散策ができる」が４割台半ば（45.8%）であった。

【その他】具体的に記入・入力のあった内容

○　八王子市の大小様々な公園は北側斜面、日陰、人気のないところなどが多い気がするためもっと明るく開けた場所に公園を作ってほしい。

問５　あなたが子どもたちに体験させたい「自然とふれあう活動」は何ですか。

（○は２つまで）

（n＝96）

	構成比（%）
芋ほり、稲刈りなどの農業体験	49.0
花や木を育てる活動	41.7
生きものの観察や虫取り	35.4
川遊び	34.4
公園の落ち葉集めや清掃	16.7
里山での間伐体験	9.4
木材クラフト作り	4.2
その他	1.0
特になし	0.0

子どもたちに体験させたい「自然とふれあう活動」について聞いたところ、「芋ほり、稲刈りなどの農業体験」が５割弱（49.0%）と最も多く、次いで「花や木を育てる活動」が４割強（41.7%）であった。

【その他】具体的に記入・入力のあった内容

○　秘密基地を作ったり、のびのび自由に創造力を伸ばせる活動。最近は非認知能力と言っているようだが最近はこのような遊びがしにくい環境だと思う。

問６　本市は令和６年（2024 年）３月に、「八王子市環境基本計画」の改定にあわせて「八王子市生物多様性地域戦略」を策定しました。生物多様性が生み出す豊かな恵み（※）を将来にわたり享受し続けるため、より力を入れて推進していくべきことはどれだと思いますか。　（○は２つまで）

※「生物多様性」とは・・・
様々な種類の生き物が、多様な環境に棲み、それらが互いに影響しあっていること。

「生物多様性が生み出す恵み」とは・・・
食料や水の供給、気候の安定、お花見や魚釣りなどレクリエーションの機会の提供といった、私たちの生活に欠かすことができないもの。

（n＝96）

	構成比（%）
動植物の生息拠点となる公園・緑地の設定と保全	59.4
自然の恵みを持続的に利用するための休耕農地の活用	36.5
林業用地・山林におけるみどりの質を高める整備・活用	35.4
希少種・外来種の分布を把握する動植物調査	27.1
動植物・生物多様性に関する知識を備えた市民・団体の育成	13.5
生物多様性について学ぶ機能を備えた環境学習施設の整備	13.5
その他	1.0

生物多様性が生み出す豊かな恵みを将来にわたり享受し続けるため、より力を入れて推進していくべきことについて聞いたところ、「動植物の生息拠点となる公園・緑地の設定と保全」が６割弱（59.4%）と最も多く、次いで「自然の恵みを持続的に利用するための休耕農地の活用」が４割近く（36.5%）であった。

【その他】具体的に記入・入力のあった内容

○　人間の活動が地球環境にどのように関与しているか定かではないが、環境が壊れる新しい道路よりもインフラの更新、修復に予算を割き、高齢者向けだけでなくコミニュティーバスやバス代の補助などを整備し、車より安く移動できるようにすることが環境負荷を減らし生物多様性の確保につながるのではないか。

問７　みどりを守り育てていくために、施設の緑化や緑地の確保において、市は今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。　（○は２つまで）

（n＝96）

	構成比(%)
公園や緑地を整備する	58.3
街路樹、植え込みを適正に管理する	53.1
公共施設の緑化を進める	24.0
みどりの機能を活かした水害対策を進める（レインガーデン（雨庭（あめにわ））（※）など）	19.8
民間事業者が建物を建築する際の緑化義務の指導をする	14.6
緑地を取得する	13.5
個人が所有する樹林地の管理に助成する	8.3
その他	1.0

※「レインガーデン（雨庭（あめにわ））」とは・・・

地上に降った雨水を下水道に直接放流することなく一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる構造を持った植栽空間です。

みどりを守り育てていくために、施設の緑化や緑地の確保において、市は今後どのようなことに力を入れるべきか聞いたところ、「公園や緑地を整備する」が６割近く（58.3%）と最も多く、次いで「街路樹、植え込みを適正に管理する」が５割強（53.1%）であった。

【その他】具体的に記入・入力のあった内容

○　民間住宅・施設の緑地の適正な管理を指導する。

問８　みどりを守り育てていくために、市民の取組に対する支援において、市は今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。　（○は２つまで）

（n＝96）

	構成比（%）
公園や緑地・里山での自然体験イベントを開催する	51.0
学校などで生きもの観察などの環境教育を充実する	41.7
みどりを大切にする市民意識の啓発を行う	28.1
緑地や水辺地の保全に取り組むＮＰＯや企業との連携を進める	20.8
緑地や水辺地の保全に取り組む市民活動団体を支援する	18.8
ガーデニング、庭木の管理、緑地管理などの講習会を行う	13.5
苗木、花などを配布する	10.4
その他	1.0

みどりを守り育てていくために、市民の取組に対する支援において、市が力を入れるべきことを聞いたところ、「公園や緑地・里山での自然体験イベントを開催する」が５割強（51.0%）と最も多く、次いで「学校などで生きもの観察などの環境教育を充実する」が４割強（41.7%）であった。

【その他】具体的に記入・入力のあった内容

○　私は歴史が好きだが、市内に数多くある城跡は、樹木が伸び過ぎて歴史資産としての価値を損ね、戦国時代が感じられる眺望が失われている。八王子はみどりが多いと言われるが、伸び放題の樹木は景観上や安全上問題があり、市民が楽しめる場になっているとは思えない。市民活動と連携して（市民目線が重要）、策路周辺や眺望場所周辺などを適度に伐採することにより、市民が立ち寄りたくなる場に変え、みどりを身近にする取組が八王子には必要と考える。

問９　令和６年（２０２４年）６月から「森林環境税」という新しい税の仕組みが始まりました。この税収を活用した取組としてより力を入れるべきことはどれだと思いますか。

（○は２つまで）

「森林環境税」とは・・・
森林には、地球温暖化防止や国土の保全、水源のかん養、生物多様性の保全などの様々な機能があり、私たちの生活に恩恵をもたらしています。
しかし、林業の担い手不足や、所有者や境界の不明な土地により、整備や管理に支障をきたしています。このため、令和６年度（2024 年度）から１人年額 1,000 円を個人住民税とあわせて賦課徴収することとされました。税収は国から自治体に譲与され、主に森林整備や人材育成、木材利用の普及啓発などに活用されます。

（n＝96）

	構成比(%)
所有者が管理しきれない山林の整備支援	45.8
林業従事者の育成（研修の実施・作業用具の補助など）	45.8
所有者が管理しきれない市街地の樹林地に対する助成	38.5
緑地・里山管理ボランティアの人材育成	26.0
公共施設などでの木材利用	15.6
森林に関する市民講座・シンポジウム、パンフレットなどによる普及啓発	12.5
その他	2.1

「森林環境税」を活用した取組としてより力を入れるべきことについて聞いたところ、「所有者が管理しきれない山林の整備支援」と「林業従事者の育成（研修の実施・作業用具の補助など）」が４割台半ば（45.8%）と最も多く、次いで「所有者が管理しきれない市街地の樹林地に対する助成」が４割近く（38.5%）であった。

【その他】具体的に記入・入力のあった内容

○　山林、樹林地に関しては所有者が責任を持って管理をするべきだと思う。そこに税金を使うのは違うと思う。

問 10　「みどりを活かした豊かなまちづくり」について意見や感想をお聞かせください。

（自由記述）

≪市の政策・取組≫

○　私はビルなどの近代的な建造物と豊かな自然がほどよく混ざり合うこの八王子が好き。引き続き豊かな自然を維持できるような取組を求める。ただ自然が豊かな分、大きな樹木が通行の妨げになっていたり 濡れた落ち葉の上で滑って怪我の原因になるなどと管理不足を感じることがある。そういった危険な部分に関してはより一層速やかに対応してもらえるとありがたい。(20 歳代)

○　個人的には駅近くの人が多いところに街路樹などの中途半端な自然は不要で、人工的な景観の方が住みやすい一方、郊外部や川沿いはみどりを増やしつつ、適切な雑草の伐採など、市民の憩いの場として利用可能な自然を目指してもらいたい。(40 歳代)

○　地球温暖化影響により外で遊べない、スポーツができない、過ごせない時期が長くなってきている。夏は過ごしやすい木陰ができる公園作りなどは、市民の共感も得られ、ボランティア参加も期待できると思う。市民参加ができるまち作りができると良い。(40 歳代)

○　貴重な山林や雑木林、田畑を壊し造成する宅地開発を規制し、多く存在する空き家、空き宅地を再利用するための制度を整備するのはどうか。新築希望者（造成事業者、個人）へ空家の取壊し費用の助成、空き家から新築した人への助成金、空き家をリノベーションする人への助成金。大規模造成を好む顧客に対応するため、点在する空き家を一箇所にまとめ再開発するためのマネージメント事業を造成事業者と協力して行う。(40 歳代)

○　公共の場所や歩行者道路に緑を植えることで、ごみなどのポイ捨ても減ると思う。足元よりも腰高ぐらいの花壇の方が、目に入りやすいと心も穏やかになり、犯罪も減らされるのではないか。(50 歳代)

○　所有者が管理しきれない山林などを税金で助成するのは、個人の財産を国民が維持することになるためおかしいと思う。所有者が山林などを手放したくないのであれば、例えば行政が維持管理を手伝う代わりに、市民に解放して利用してもらうのはどうか。また、みどりの維持管理はとても費用がかかるので、大きなお金を動かせる行政や法人がリーダーシップを取り、形作るのが良いと思う。素敵なみどりができたら、それを維持したいボランティア精神は自然と生まれるのでは。(50 歳代)

○　所有者が管理できない緑地を市民へ貸し出す取組など。現在も行っている市民農園の拡大及び個人宅の生垣などの補助。(60 歳代)

○　みどりの多い広場の下、老若男女の集えるイベントがあると良いと思う。(例えば夏祭りのような行事を、春秋に行うなど)(70 歳代)

○　道路整備には緑地を取得する。(70 歳代)

○　八王子市は山間部を近くに控え、片倉城址公園、小宮公園、そして日野市の長沼公園、平山城址公園などがあるが、もっと近場でもみどりに触れあえるような場所がほしい。そういう場所には静かに休めるベンチがあること。南浅川沿いもあるが、日陰になるような樹がほしい。(70 歳代)

○　市民の力を活かすことが大事だと思う。みどりが美しいと感じるまちはあるが、八王子がそう感じられないのは、その差なのではないかと感じる。(60 歳代)

○　「みどりを活かした豊かなまちづくり」は、地球環境保全、地域自然保護（SDGs）を中心に、人の感性や自然との共生で、八王子市ならでは施策。市民に重要性を認知してもらい、施策に協力してもらうには、セミナーの開催や、市民がよく目にする街路樹や学校のみどりの保全などを行うのが良いのではないかと思う。人は賢く、方向性が見えた瞬間に自然環境の改善の推進を行うと思う。市や推進者に敬意と自分も市民の一人として参画する。（60 歳代）

○　湯殿川沿いに住んでいるが、川沿いの遊歩道にはみどりが多く四季を感じられる。また、カワセミやサギ、カワウなどの鳥類や川エビ、サワガニ、蛍などの生き物も生息しており自然を身近に感じている。ただ管理がなかなか行き届かないのですぐに雑草が道の方まで広がってくる。例えば地域の学校、拓殖大学などと連携して、運動系の学生さんなどに協力してもらい定期的に手入れをしてもらうことなどはできないのか。地域の清掃日に参加してもらい、作業終了後に地域の人と交流を深め、試合の予定などを教えてもらえば、応援に行く人も出ると思う。地域と大学の繋がりもできるのではないかと思う。（60 歳代）

○　個人が所有する、大きくなった庭木の管理、庭の雑草（すすき、どくだみ、他）の草むしりを市民の啓発を行ってほしい。各家庭で草花を植えて美しい町づくりに力を入れてほしい。（70 歳代）

≪適切な管理・整備≫

○　定期的にみどりを活かした場所などを団体が手入れする。（30 歳代）

○　甲州街道のイチョウ並木を適切に管理し大切にしてほしい。（30 歳代）

○　どんなにみどりが多くても、管理が行き届かないのであれば意味がないと思う。実際、私の住む町では、みどりは多いが手入れが行き届いていない。ボランティアでもシルバー人材でも良いので、もう少し管理ができると良いと思う。（40 歳代）

○　八王子に住んでみて、自然やみどりを生かした公園が少ない、山林やみどりが豊かだが整備された土地が少なく、生活をしてみてみどりの豊かさが良い部分として感じられない。（50 歳代）

○　街路樹の整備を進めてほしい。西八王子は街路樹があるが、それ以外はどうなのか。（50 歳代）

○　水場の整備。（60 歳代）

≪緑の保全≫

○　八王子市には他の地域よりも生かせる・守れる緑が沢山あるので、最低限管理できる「手つかずの森・雑木林」を守っていってほしい。（50 歳代）

○　環境保全、循環型社会の実現は、行政の最重要課題だと思う。（50 歳代）

≪子どもの教育≫

○　都内でありながら比較的豊かな自然が近いという土地柄を活かして、子どもたちが公教育の場で自然に触れ合う機会が増えるような取組への支援を積極的にお願いしたい。（30 歳代）

○　学校や幼稚園などの緑化、自然教育を推進し、幼い頃からみどりに親しみ、みどりの大切さを知ることで、みどりとの共生が豊かな暮らしを生むことを自然に推し進める人材が増えると思う。（40 歳代）

≪その他≫

○ 都市化と真逆の題であるため、どちらかを切り捨てなければならない。住宅密集地を無理やり解体し、緑地化するぐらいでないと緑化できたと言えるか疑問が残る。八王子は比較的自然の多い地形であるため、現在あるものを崩さないことを優先するべきではないだろうか。（20 歳代）

○ 木製の消耗品を作るのはどうなのか。（薪や割り箸）（40 歳代）

○ 八王子は街路樹は多いが花が少ないように思う。団地の垣根が歩道まで伸びて歩きづらいときがあり危険だと感じる。（40 歳代）

○ 国連事務総長が「地球沸騰化の時代」と発言したこと　欧州が何年も前から炭素税のようなものを設けていて、地球温暖化に対する積極的な取組をしており、その理由を当時の副委員長が「科学的根拠のみだ」と発言したこと。2030 年までに地球温暖化に対してきちんと対策しないと地球全体・生物・人類全体に深刻である科学的根拠があること。SDGs。これら全てをわかりやすく文章や絵や図なども用いて前面的に出していくことは重要ではないか。（40 歳代）

○ 高尾山がある八王子市、みどり自然豊かな町、そして澄んだ浅川、いきものが多く住む場所が良い。（50 歳代）

○ 住んでいる地域に、涼しげな柳の木が数本、また、ハンカチの木と言う珍しい木が一本あったが、いつの間にか伐採され、新たに植樹されることもなく、とても残念な気持ちでいる。通学路の日射を和らげていたし、木の季節ごとの変化が楽しみでもあった。（公共の木だと思う）（50 歳代）

○ 山々や河川　街路樹や植え込みにごみやたばこの吸いがらの不法投棄などがあると非常にがっかりする気持ちになる。（特に、小学生たちが街路樹に植えた植物にごみ（たばこや缶など）が捨ててあるとがっかりする。）（50 歳代）

○ 多摩ニュータウンでは、既に公園や住宅地のみどりが十分育ってきており、今後はみどりを増やすより、いかに今あるみどりが荒廃しないようにするか、に努めるべきではないか。既に「つる性植物」や竹類に浸食されつつある緑地も多くあり、「みどり豊か」とばかり言ってられない懸念がある。（60 歳代）

○ みどりが少なくなっていると感じるこの頃、みどりの大切さありがたさを多くの人々が知って大切にしていければ、きっとみどり豊かな八王子が実現できるのではと思う。（60 歳代）

令和6年度（2024 年度）市政モニター
第1回アンケート結果
令和6年（2024 年）11 月

発行 八王子市 市長公室 広聴課
八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号
電話　042（620）7411（直通）
FAX　042（620）7322